

千ムニ251塗膜性能(耐食性) 試験結果

1. 結論
2. 試験片作製条件
3. 試験方法
4. 試験結果
5. 添付写真

1. 結論

チムニ 2 5 1 (黒) の防錆性能の測定として、耐食性試験 (塩水噴霧) を行いました。

その結果、以下の性能を確認できました。

- ・ 500h経過時カット部にて片側2mm以上、両側4mm以上の錆が発生
- ・ 2000h経過時一般部にてフクレが発生

2. 試験片作製条件

<基材>

S P C C - S D (150×70×1^{mm})

<素地調整>

ブラスト処理

<塗装方法>

エアスプレー

<複合膜作製>

塗料配合：ベース／硬化剤＝80／20（重量比）

使用塗料	塗装回数	膜厚 (μm)	乾燥時間	焼成条件
チムニ251 (黒)	3回	60~70 (1回) 3回合計 180~210	室温(20±5°C) 1h以上	100°C × 20min

3. 試験方法

⑤

<試験方法>

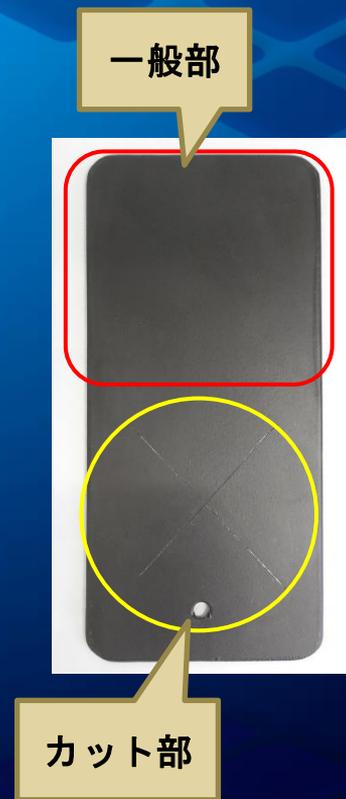
チムニ251を塗布した塗板上に右図のようにクロスカットをいれ、塩水噴霧試験機により耐食性試験を行う。

<評価内容>

以下の各部位、各項目において100h毎に塗膜の状態を記録する。

一般部：ワレ・フクレ、錆等の外観確認

カット部：錆発生幅の測定



4. 試験結果

項目		300h	500h	1000h	1500h	2000h
一般部 外観		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	フケ発生
カット部 錆発生幅	片側	1.5mm	2.9mm	5.9mm	5.9mm	5.9mm
	両側	2.6mm	4.6mm	13.0mm	13.0mm	13.0mm

<耐食性(塩水噴霧試験)>

- ・ 500h経過時点でカット部にて片側2mm、両側4mm以上の錆発生を確認した
- ・ 2000h経過時点で一般部よりフケの発生を確認した

5. 試験写真

⑧

